

自立貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 平成28年12月2日(金)

発行者 学校長 梅澤 薫

所在地 神奈川区西寺尾3-10-1

電話 401-3644 FAX431-0244

大切にしたいもの

副校長 栗田 智則

『光陰矢の如し』(こういんやのごとし)ということばがあります。月日の経つのは矢が飛んで行くように早いというたとえであり、過ぎた時間は二度と戻ってこないから無為に送るべきではないという意味も含んでいるといえます。2016年も、いつの間にか残り一か月になりました。この1年を締めくくるといふ意識で、日々生活する時間を**大切**にしていきたいものです。特に、3年生にとっては、各々の進路に向けてさらに努力を要する時期でもあります。長い人生の中で、自分の進む道を選択することは、これから何度もあると思います。そのたびに、たくさん悩み、保護者や先生、友人など多くの人に相談をして、ぜひ「判断力・決断力」を磨いてほしいと願っています。



錦台中学校は、昭和34年(1959年)4月に神奈川中学校から独立開校しました。今から57年前のことです。卒業生も約1万4千8百人以上にのぼります。保護者や地域の方々の中にも、たくさんの卒業生がいらして、当時のことを懐かしく語る場面もあることと思います。当然のことですが50年以上も過ぎているのですから、伝統ある学校であることは間違いありません。先輩である卒業生のみなさんは、温かい眼で今の錦台を見守ってくださっていると、あらゆる場面で感じます。在校生のみなさんにもぜひ伝統校としての母校の誇りを**大切**にしてほしいと思います。校舎も、途中で建て替えられたとはいえ、年とともに老朽化してきています。災害等が起きた時には、地域の避難所等になるかもしれない校舎です。冬休み前には、大掃除などの美化活動がありますが、日ごろから、傷つけずにきれいに使用していくことを心がけていくことも、母校「錦台」への愛校心のひとつではないでしょうか。

そして、縁あって同じ学校学年になった仲間や部活動の先輩後輩に対しても、お互いを認めあい尊重する心を**大切**にしてほしいものです。いつの時代も友だちというのは、とても大切な存在です。時には友だちと上手にコミュニケーションがとれずに、心細く感じるときもあるかもしれません。しかし、心を大切にできる人のまわりには、ふと気が付くと、意外にも応援してくれる人がいるに違いありません。次のような話を伺いました。『「しんゆう」を漢字で書けば「親友」。友情関係のさまざまな段階では、新友・親友・信友・心友・真友もある。特に仲の良い友人を「親友」と呼ぶが、心から理解し合っているという意味で「心友」と書く場合もある。新しく友だちになった人は「新友」、信じ合える友は「信友」と呼んでいいかもしれない。友だちと語り合うごとに、お互いを知り、関係を深めていく。自らの誠実な姿勢が「親」を「信」に変えて、お互いの思いを語る中で「信」は「心」へと発展し、「真」となる。』というのです。日本国語大辞典第2版(小学館)に「心友=同心の親友。心を許しあっている友人」「信友=誠意のある友人、信頼できる友」「真友=ほんとうの友人。真実の友」との記載がありました。日々の穏やかな生活の中で、時間を大切に、誠実な心を大切に「錦台」での「しんゆう」を一人でも作れることができれば素敵なことですね。

